

1社15分で本質をつかむ  
プロの企業分析



かこ い しゅん すけ  
梶井 駿介

つばめ投資顧問代表 投資系YouTuber

HOW TO BECOME  
YOUR OWN STOCK ANALYST

SHUNSUKE KAKOI

CROSSMEDIA PUBLISHING

# 企業分析は「推し活」である

## 企業分析と「推し活」

---

突然ですが、「推し活」という言葉を耳にしたことがあるでしょうか。アイドルやアニメなどのキャラクターで自分が好きなものを「推す（推奨する）」活動のことです。

かつては「オタク」と呼ばれていたものだと思いますが、それが今や市民権を得て、「Z世代」と呼ばれる10～20代の8割は何かしらの「推し」を持っているという調査もあるくらいです。

「推し活」を広く世間に広めたのは、「AKB総選挙」でしょう。CDを買えば投票権を得られ、それを自分の「推し」に投票する。この票数によって、AKBの中での順位が決まります。もし自分の「推し」が上位に食い込めば、満足感を得ることができるでしょう。

なぜ今の若い人たちが「推し活」にこれほどまで熱中するの  
かと考えると、そこに世相が表れているように感じます。かつ  
てのように経済成長を追い求める時代は過ぎ去りました。経済  
のパイが成長しない中で、競争ばかりしていてもギスギスする  
だけで、一向に幸せは得られません。そんな中で「推し活」は、  
自分の「推し」がスターダムに上がっていくのを応援すること  
で、自分にとっての生きがいを生み出しているのではないで  
しょうか。

この仕組みこそ、私が生業とする株式投資にも通じるところ  
があると感じています。

自己紹介が遅くなりましたが、私は「つばめ投資顧問」とい  
う会社を経営しています。個人投資家の皆さんへ、株式投資の  
アドバイスをする仕事です。株式投資の中でも、「投資の神様」  
と呼ばれる御年92歳のウォーレン・バフェット氏が行うよう  
な「人生スパン」での長期投資を推奨しています。

長期投資とは、簡単に言えばひとつの株を長く持ち続ける  
ことで、その企業が成長することによって、投資のリターンを  
得られます。バフェットの言葉を借りれば、**理想の投資期間は**  
**「永遠」**です。永遠といっても、株式をあの世まで持って行くこ

とはできませんから、最長で「人生」と置き換えてもいいかもしれませぬ。

私が考える長期投資とは、私たちの一生のうちに、自分が気に入ったいくつかの銘柄を持ち続け、その企業が成長することによって資産が増え続けるというものです。パフェットの例を挙げるなら、1960年代に投資したアメリカン・エクスプレスです。半世紀以上経った今でも保有し、その時価は購入金額の約20倍(3.5兆円)になっています(2021年末時点)。

この投資法こそ、先に説明した「推し活」そのものだと考えています。アイドルやキャラクターと同じように、自分が気に入った企業にお金を投じ、その対象が成長していくのを見守る。当然、自分がどの企業を推すかは、その中身のことをよく知ってからでなければいけませんし、推し始めてからも、様々な苦楽を共にすることになります。

アイドルで言えば、様々なスキャンダルに見舞われることもあるでしょう。それを受けて「推し」をやめてしまう人も一定数いる。一方で、それでも「推し」を辞めずに続けた結果、スキャンダルを乗り越えて大きく成長していくこともあります。

その事例として最適なのが、元AKB48／HKT48の指原莉

乃さんです。彼女は恋愛スキャンダルが発覚し、一時AKBからHKTに「左遷」されましたが、それをものともせず今ではバラエティ番組に欠かせない存在となっています。そこまで推し続けられれば「ファン冥利」に尽きるわけです。

アイドルの「推し活」で、自分の推しが大きく育ったとしても、何か目に見えるリターンがあるわけではありません。しかしこれが株式投資となれば、株価の成長を通じて金銭的なリターンをもたらしてくれることになります。

もっとも、逆に金銭的なリターンにだけこだわってしまうとギスギスした世界になってしまうので、結果として自分を苦しめることとなります。あくまで、自分が本当に好きな企業に投資し、その企業を持っていることで幸せを感じながら、やがて資産も増える姿こそが長期投資の理想であると考えます。

## 人生を楽しくする企業分析

---

ただ、一言で「推し企業」を見つけるといっても、多くの人は何から手をつけたらいいか分からないかと思います。自分が好きな商品をつくっている企業、雑誌で見た経営者の理念に共感できる企業、素晴らしいビジネスモデルを行っている企業。そ

の観点は様々です。

一方で、「長期投資に適した企業」という観点で見れば、分析のやり方はある程度決まってきます。とくに財務面に関しては、良好な企業とそうでない企業の差は明確です。したがって、まずはそれを見極めることで、おかしな企業を避けることができます。アイドルで例えるならば、私生活がだらしない人を見極めるようなものです。

もっとも、投資の成果を左右するのはあくまで未来のことですから、分析だけでできることにも限界があります。そこから先は、過去の分析を行った上で、自分の観点でその企業の未来の姿を想像することになります。これこそが、分析者・投資家としての腕の見せ所です。

「投資は半分サイエンス、半分アート」と言われます。サイエンスの部分は、誰がやってもおおよそ同じような答えになる部分です。まずはこの能力を身につけることで、プロの投資家とも同じ土俵に立つことができます。そこからアート、すなわち想像力を駆使することで、あなた独自の視座を身につけ、場合によってはプロをも出し抜くことができます。

とくに、あなたがその企業のことを好きであればあるほど、

より正確かつ明るい未来を描くことができることになるでしょう。これぞすなわち、企業分析における「推し活」に他ならないのです。

推しの企業を見つけたら、投資するのもよいですし、就活生ならそこに就職するのもありでしょう。またあなたがビジネスパーソンだとしたら、その企業をマネすることで大きな飛躍を得られるかもしれません。「企業の推し活」は単なる趣味ではなく、あなたの人生そのものもバラ色に変える力があります。

「推し企業」を見つけたら、人生が楽しくなることは間違いありません。さあ今すぐノートとペンを手に取って、企業分析を始めてみましょう。この本があなたにとっての羅針盤になればとても嬉しく思います。

## 1社15分で本質をつかむ プロの企業分析 目次

プロローグ 企業分析は「推し活」である .....2



# 企業分析の目的

---

企業分析と人間観察 .....	14
企業の未来を見通す「性格」.....	17
「就職人気ランキング」を気にするな .....	20
企業と資本主義社会 .....	22
企業分析の目的と使い方 .....	27
企業分析に資格は必要？ .....	42





第2章

# プロの企業分析とは

---

企業分析は「未来」を見通すためにある	46
MBAで学んだこと	50
3C (Company, Customer, Competitor) で 客観的視点を養う	54
SWOT分析で整理する	59
タテから見る、ヨコから見る	63
最高のアナリストはあなた自身	68
経営者になったつもりで「ストーリー」を見つける	73

# プロの企業分析の実際

---

秘伝のメモ .....	78
有価証券報告書で6割は埋まる .....	84
有価証券報告書で「3C」を埋める .....	93
競合や業界を知る：業界地図 .....	113
一目で確認したい時： 銘柄スカウター（マネックス証券） .....	116
「今」何が起きているかを知る：株探 .....	119
より深く知る：決算説明会動画／転職サイト .....	122
最もリアリティがある：生の声や直接の情報 .....	126
真実はいつも、ひとつ .....	129



第4章

## 簡単！財務諸表分析

---

財務分析は「だるま落とし」	134
損益計算書	139
貸借対照表	145
キャッシュフロー計算書	154
財務諸表とストーリー	164
投資で最も重要な「ROE」の本当の意味	168
NECの財務分析	172



第5章

## 企業分析で最も大切な 「ストーリー」

---

過去のストーリーと未来のストーリー	182
-------------------	-----

ストーリー構築の流れ .....	185
「1社15分」で分析する方法 .....	204



## 企業分析家の視点をもつ

---

「よい企業」は、一人ひとりの中にある .....	208
長く付き合っこそその「推し」 .....	212
よい企業はあなたの近くに眠っている .....	215
「推し企業」に上手に投資する方法 .....	227
「企業分析家」という生き方 .....	232
エピローグ 企業分析家になろう .....	236